

ふるさと教育 取組事例

学校名	奥出雲町立横田中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	総合的な学習 の時間	わたしたちのふるさと奥出雲町の町づくりを考える	<ul style="list-style-type: none"> ・奥出雲町役場の方、公民館長 ・奥出雲町の事業所の方 ・横田高校魅力化コーディネーター ・京都大学藤原辰史先生
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと奥出雲町と他地域の町づくりの特徴について知る。 ・奥出雲町と他地域を比較し、奥出雲の強みや課題をまとめ分かりやすく伝える。 ・自分と地域との関わりや自分の生き方について考える。 	
<p>1 取組の概要</p> <p>・奥出雲町の町づくりについて調べ、役場の方、IターンUターンの方にお話を伺いながら、町のよさや課題を見つめた。また、修学旅行で訪れた京都大学で本町出身の藤原辰史先生に発表した。修学旅行後は、奥出雲町の人口と同じ規模の京都府の町、全国の市町村の町づくりを調べ、奥出雲への提言を考え、保護者に向けて発表した。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>・「奥出雲のよさや課題」をさまざまな視点から考えるために、UターンIターンの方だけではなく、町出身で他地域にお住いの京都大学の藤原先生を訪ね、離れて感じる奥出雲のよさや課題について伺った。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>・本町在住ではない方に発表するために、どのようなプレゼンテーションを作ればよいか、発表すればよいかなど聞き手を意識した発表方法を学ぶために活用した。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>・「探究活動を通して奥出雲のよさ、課題を捉えて『ふるさとへのプライド』を持つことが大切である」ということを学び、生徒たちのふるさとへの考え方が変わった。大人になっても奥出雲のよさが堂々と話せることが大切であると学んだ</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>・奥出雲町出身の藤原先生を身近に感じながら、自分自身の将来と重ね合わせてこれからの生き方について考えるきっかけとなった。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>・ふるさとの「こと・もの・ひと」を活用することで打ち合わせの時間が必要になり、教員の負担が大きいの。しかし、過疎化が進む本町においてふるさとへの愛着は必要である。そして、「プライド」を持ち、全国や世界で活躍できる生徒にしたい。</p>			

